



題字・イラスト/金子伸子 デザイン/栗田いづみ 発行・編集・執筆/宇野津暢子 協賛/玉川学園地区まちづくりの会
【お問い合わせ先】ns821826hs117@gmail.com TEL090-3473-3872
*玉川つばめ通信32号は3000部印刷し、配布しています。

ごあいさつ

お久しぶりです。つばめ通信です

みなさま、すっかり発行が遅くなりすみません。以前は「次号はいつ?」とよく言われましたがその気配がないからか、気を遣って下さってるのか「次は?」という声が聞かれなくなり早半年(苦笑)。ついに!やっ!と!忘れたふりをしてた「つば通」を作りました。紙はwebより面倒臭いしお金も手間もかかりますが、完成するととてもうれしい!このうれしさを読んでくださるみなさまと分かち合えるときさらにうれしいです。

玉川つばめ通信編集室 フリーライター宇野津暢子

気になる場所訪問

玉川学園周辺で見つけた!

DATA
町田市玉川学園2-11-1
☎042-729-3140
営業時間 10:00~19:00
定休日第2木曜日
(6/28、29、30休業)

第32回
エリムラ



41年もの間、エリムラが多くのの人に愛された理由は、学(まなぶ)さんと恭子(やすこ)さんのお人柄にあったことは間違いありません

7月末でエリムラが閉店します。エイプリルフルじゃありません。悲しい、困った、もつと行けばよかった!とはいえ、まずは「ありがと〜!」です。

〇「玉川つばめ通信」を初めて作ったときに、最初に100部買ってくれたのがエリムラでした。7月で閉店されると、昨日恭子さん(奥さま)に聞いて、急いで取材にきました。

学さん…そうか〜聞いたか。そうなん

だよ。いろんな理由を細かく話すとグチみたいになるからいやなんだけどさ。

〇やめよう、って決断したきっかけがあったんですか? きっかけはいくらでもあるけど、大きなきっかけといえば5月の売り上げがぐっと下がったことだよ。もう「こんな工夫をしたらどうか?」ってレベルじゃなくてね。

〇そうですね。なんで100均で買う時代になっちゃったし、ネットでものを買う人も増えましたしね。長く支えてくれた常連さんたちは僕と同じように歳をとって、物自体、もうそんなに必要ないでしょ。昔は子どもが小銭を持ってノートや文房具を買いにきたけど、今は学校で一括購入するのが主流。IT活用も広がって、文房具を使う機会も減ったんだよ。

〇でも雑貨は? 雑貨を買う人は今も一定数いますよ。

昭和56年にエリムラをオープンしたときは「玉川学園にたくさんさんの雑貨屋ができたら楽しいまちになるだろうな」って夢を描いてたんだよ。当時は商店街を歩く人も今よりずっと多かったし。今はどうかという、雑貨の売り上げは文房具の売り上げのほぼ倍。といってもオープンのころと比較したら全体の売り上げは1/3ほどしかなくて、家賃が払えないくらいなんだよね。

うれしい思い出もたくさんあるんだ

〇エリムラの閉店は買わなかった私たちにも原因があるわけで、「困る」とか、「もつと買えばよかった」なんて軽々しく言えないよなと思ってます。

「閉店したらあの人は困るだろうな」とか、いろんな人の顔が浮かぶんだよ。でも仕組みがすっかり変わっちゃってね。小売店はもう回らない。

〇お店をやって楽しい、って思えたのっていつ頃まででしたか?

う〜ん。20年くらい前までかな。とはいえ今だって、遠方に引越したお客さまと文通したり、差し入れをいただいたり、子どもだった人が大人になって、その人の子どものも連れてきてくれたり、とうれしい思い出はたくさんあるんだ。そうい



エリムラは、行けば何かが見つかる、おもちゃ箱のような、なつかしくてしあわせになるお店でした(涙)



エリムラの定番品&ロングセラーはデュラレックスのグラスと袋入りフレッシュセソ。まだ残っていたら最後にぜひご購入を!

エリムラより

昭和56年から令和5年まで、41年に渡ってエリムラをこ愛願いただきました。どうもありがとうございました。大家さんの秋山さん、そして野村不動産の方にもよくしていただきました。もし皆さまにお願いできるならば、今なお玉川学園でがんばっている小売店を応援すべく、今後もぜひこのまちでお買い物をしてください。

溝口学・恭子

6/30(金)15~20時、エリムラ店頭で「スナックつばめ」開催します! だれでもぜひお越しください♥